

経営と健康



交通安全対策企業の責務

講師 一龍斎貞花

280キロで暴走、新幹線並みの最速スピード違反に驚かれた方が多いと思います。

平成30年1月12日午前4時10分頃、東大阪市の自動車専用道路「第2阪奈道路」で法定速度60キロのところ、約220キロ上回る国内のスピード違反過去最高。「GTR」（日産）でぶっ飛ばしたという。車やトラックを次々と追い抜く様子を動画サイトに投稿。動画閲覧者から5月、大阪府に情報提供があり、府警は8月、車のナンバープレートを付けずに走行したとして、道路運送車両法違反の疑いで逮捕。11月5日書類送検した。（日刊スポーツ11月6日紙上より）

「GTR」は最高時速370キロ可能という。年間販売計画数800台は、毎年超えているという人気車。スピード狂にはたまらないでしょう

が、類似犯が出ないことを祈るばかり。

新幹線N700A-285キロ/h。自衛隊アパッチー270キロ/h。

新幹線に乗車していると外の景色は見えるが、外から走行中を見るとビューッとすっ飛んでいる。こんなスピードでよく事故が起きなかったものだと思う。警察には、動画検索担当者はいないのだろうか。

18年3月には、東京湾アクアラインで、バイクで239キロ/h。

18年3月、中央自動車道を米国製スポーツカーで235キロ/h。

18年1月、埼玉県北自動車道、90キロの速度超過者。最高裁で懲役4カ月執行猶予3年の判決。

累積違反でない時は、12点減点、90日間の免許停止。

50キロ以上の速度違反は、すべて6カ月以下の懲役と記されたものもある。

る。12点減点ならぬよう要注意。

ところがこの罰則、地域によって軽重の差があるとか。

さらに、特殊法務事務所に相談すると勿論有料だが、累積4点+50キロ以上超過合計16点。1年間免許取消が相談したら、速度超過軽減処分によって180日の免許に軽減。

人身事故1年間免許が、相談したら6カ月に軽減。

青信号で横断歩道横断中の人を死亡させた事故、15点により1年間の免許取消しが、180日の免許+罰金無しに軽減されたという。

金を払えば、罰則日数ばかりか、免許取消が免許停止に軽減という。

こんなこと本当に有りですか。

東京都の安全運転管理者指導講習会で、15年以上講演しているが、スマホでスピード違反を調べて初めて知りま

したが。一般の罪も弁護士力の力で差が出るといっているので、ありなんですかね。

速度が加速されることに視野はどんどん狭くなる。

大人の場合、静止状態で180度から200度の視野があるが、時速40キロで100度、70キロで65度、100キロの速度になるとわずか40度、景色が近くはつきりせず、障害物の確認が出来なくなる。

車は、急に止まれない。運転者が危険を感じてから停止するまでの距離は、スピードによって異なる。

高速道路100キロ/hで走行中、急ブレーキをかけても112mも先、スピンして、ガードレールや他車にぶ

つかる。前の車に追突もある。

一般道路40キロ/h走行でも、22m

も先、20キロ/hでも9m進んでやっ



空走距離 + 制動距離 = 停止距離

危険を感じ急ブレーキを踏み、ブレーキが効き始めるまでの距離

ブレーキが効き始めてから車が止まるまでの距離

時速	空走距離	制動距離	停止距離
100km	28m	84m	112m
90km	25m	68m	93m
80km	22m	54m	76m
70km	19m	39m	58m
60km	17m	27m	44m
50km	14m	18m	32m
40km	11m	11m	22m
30km	9m	6m	15m
20km	6m	3m	9m

と止まる。運転者が通常の状態では運転中に乾いた舗装道路で急ブレーキをかけた場合の数字で、路面が濡れ、タイヤが磨り減っている場合は2倍以上、積雪・凍結路面は3倍にもなるという。こんな数字を突きつけられたら、怖くなって運転できないという人がいるかもしれない。

一瞬の判断が遅れると言われる高齢者。身内の高齢者に運転をやめてもらいたいと思っている方、こんな数字を見せてはいかがが。ブレーキを踏むのが

0・5秒遅れただけでも、停止距離は延びる。

スピードに応じた十分な車間距離を保つことがいかに必要か、お分かりのことと思う。

交通事故死上半期最少、高齢者最多

18年上半期（1～6月）全国の交通事故死者数1603人で、前年同期より72人（4・3%）減。48年以来最少。ところが65歳以上は440件（43件）増、高齢になるほど増加。高齢社員の運転には要注意。

都道府県別死者数、愛知95人、千葉91人、埼玉89人、神奈川71人、兵庫68人、東京61人（渋滞で走れないため少ないと言われている）。

安全対策は、企業の責任

事故の多い時間帯は、木曜日の夕方が一番多いとされる。一週間の疲れ。金曜日は明日から休みというので、気持ちに余裕があるから少ないという。

次いで月曜日の午前10時から1時間。休み明けでもう少し休みたいとい

う気からだそう、以前は今日から仕事頑張ろうだったが、気の持ち方が変わったことと、営業係が出発時間、「人身事故を起こせば会社にも影響するから気を付ける」と、注意する上司が少なくなると、「事故を起こして働けなくなったら困るぞ」とか、「子どもがまだ小さいだろう、学費も大変、気を付けるよ」

会社の為に勿論あるが、事故を起こせば自分が困る。安全は自分のためという注意にして頂きたい。ことに若い人は、「会社のため」と言われると、つい運転が散漫になる者が居ることを認識して頂きたい。

相変わらず飲酒運転が後を絶たない。最近では飛行機のパイロットに、検査でオーバーのため遅延が報告されている。電車、タクシー運転手もある。

睡眠時無呼吸症候群により、眠気が残っているバス運転手の追突死傷事故。これはバス運転手に限らず、トラック運転手、個人の事故も最近よく報道されている。営業車の場合会社にも大きな影響を及ぼすことになる。

管理者に、自己申告をして乗車禁止となったら、それこそ仕事を失うこと

にもなりかねないと申告しないケースが多いのではなからうか。

会社の健康診断では判明しない症状かもしれないが、報告をきちんとさせる職場環境が必要であろう。

あおり運転多発、切れやすい性格か。社内のみならず、家庭内のいざこざからのストレスによる無謀運転もある。熱中症による死傷者、一番多いのは屋外作業の多い建設業だが、運送業も少なくない。積雪の時は、マフラーに雪が詰まっていけないか注意を促すなど当たり前でもないことだが、そうした事故もあるだけに、管理者は社員の性格、生活状態に目を配り、気のゆるみのないよう喚起して下さい。

毎年百万人を超える交通事故の負傷者。社員（家族）が被害者になることは勿論、加害者になることも企業にとつて大きなリスク。社員が事故を起こせば会社が管理責任を問われることもあり、交通安全対策は企業のリスク管理です。

安全なくして会社の繁栄なし

安全あってこそ会社の繁栄

猪突猛進ならぬ、亥歳快進の年でありませう。